

ローランド ディー.ジー.株式会社

第41期（2021年12月期）  
定時株主総会

2022年3月24日

## 修正箇所

### (3) 取締役及び監査役の報酬等の額

#### ①取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針に関する事項

#### 4)業績連動型株式報酬の内容及び算定方法の決定に関する方針

##### (修正前)

当該制度においては、対象の取締役に対し、株式給付規程（役員向け）に基づき、役位に応じた基本ポイントに連結売上高（成長性）、連結営業利益（収益性）及びROE（経営効率性）の目標値に対する達成度合い並びにウェイト（30%：40%：**40%**）に応じた係数を乗じて算出されるポイント（株数）を付与し、当該取締役が当社及び当社の関連会社の役員又は使用人その他の従業員のいずれの地位も有しなくなったときに、保有するポイント数に応じた当社株式（但し、当社株式を給付できない場合には、当該株式の処分によって得られた金銭から費用を控除した後の金銭）を給付するものとする。

##### (修正後)

当該制度においては、対象の取締役に対し、株式給付規程（役員向け）に基づき、役位に応じた基本ポイントに連結売上高（成長性）、連結営業利益（収益性）及びROE（経営効率性）の目標値に対する達成度合い並びにウェイト（30%：40%：**30%**）に応じた係数を乗じて算出されるポイント（株数）を付与し、当該取締役が当社及び当社の関連会社の役員又は使用人その他の従業員のいずれの地位も有しなくなったときに、保有するポイント数に応じた当社株式（但し、当社株式を給付できない場合には、当該株式の処分によって得られた金銭から費用を控除した後の金銭）を給付するものとする。

## 報告事項

1. 第41期（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第41期（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）計算書類報告の件

## 決議事項

第1号議案	剰余金の処分の件
第2号議案	定款一部変更の件
第3号議案	取締役 6名選任の件
第4号議案	監査役 1名選任の件

# 監查報告

# 監査報告 (招集ご通知 57頁)

## 監査役会の監査報告書 謄本

### 監査報告書

当監査役会は、2021年1月1日から2021年12月31日までの第41期事業年度における取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等の監査計画に従い、オンライン会議ツール等も活用しながら、取締役、執行役員、監査室等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役、執行役員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等との意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を求め、その業務及び財産の状況を調査いたしました。
  - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制(内部統制システム)について、取締役及び執行役員等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」(会社計算規則第131条各号に掲げる事項)を「監査に関する品質管理基準」(2005年10月28日企業会計審議会)等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表)及びその附属明細書並びに連結計算書類(連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表)について検討いたしました。

#### 2. 監査の結果

- (1) 事業報告等の監査結果
  - ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
  - ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
  - ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果  
会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。
- (3) 連結計算書類の監査結果  
会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2022年2月14日

ローランド ディー.ジー.株式会社 監査役会

常勤監査役 鈴木 正 康<sup>Ⓔ</sup>

常勤監査役 長 野 直 樹<sup>Ⓔ</sup>

社外監査役 松 田 茂 樹<sup>Ⓔ</sup>

社外監査役 本 田 光 宏<sup>Ⓔ</sup>

以上

# 監查報告

# 第41期 事業報告

## (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

本資料に掲載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現時点(2022年3月24日現在)で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。  
実際の業績は、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

# 第41期（2021年度） 連結業績



# 第41期（2021年度） 連結業績

## 第41期 決算概況

### 設備投資需要は堅調に推移

イベントの再開により出力需要は回復しつつも、  
注意喚起表示需要は徐々に減少傾向

成長分野のデンタル市場は引き続き需要が拡大

## 第41期 決算概況

供給面では部品不足や海上輸送の遅延により不安定な状況

部品価格の高騰に対して原価低減活動を実施

想定を上回る需要拡大に対してはタイに仮設工場を設置

適切な対策により業績への影響を最小限にとどめる

## 第41期 決算概況

前期は新型コロナウイルス感染症の影響により業績は不調

経済活動の再開で需要が回復

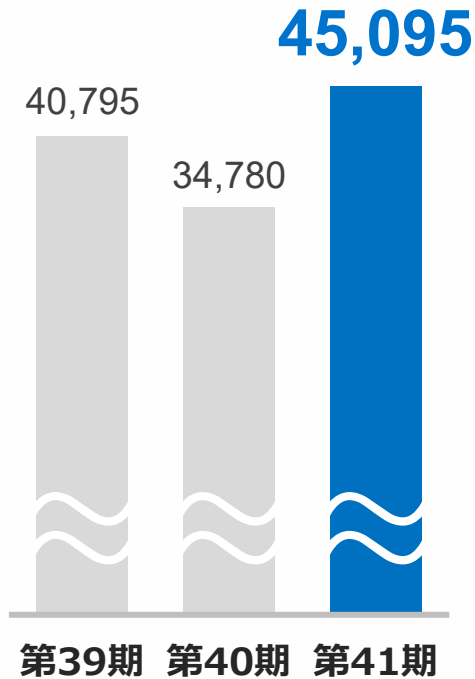
デンタル市場の販売が拡大

大幅な増収・増益

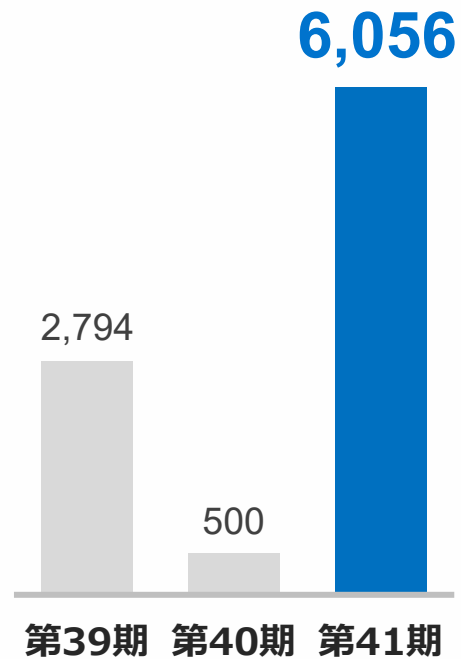
# 第41期 連結業績

(単位：百万円)

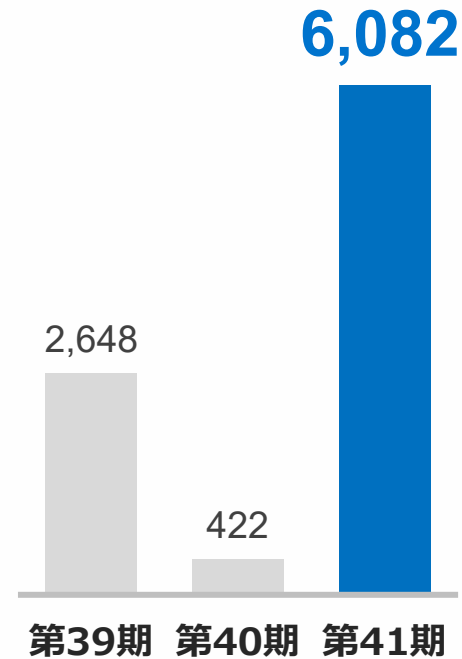
売上高  
+29.7%



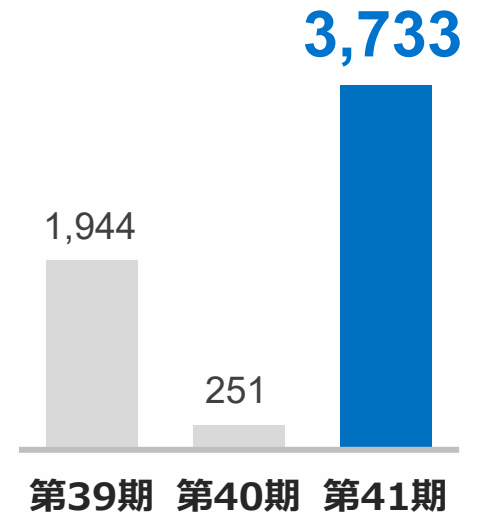
営業利益  
+1,110.8%



経常利益  
+1,338.7%



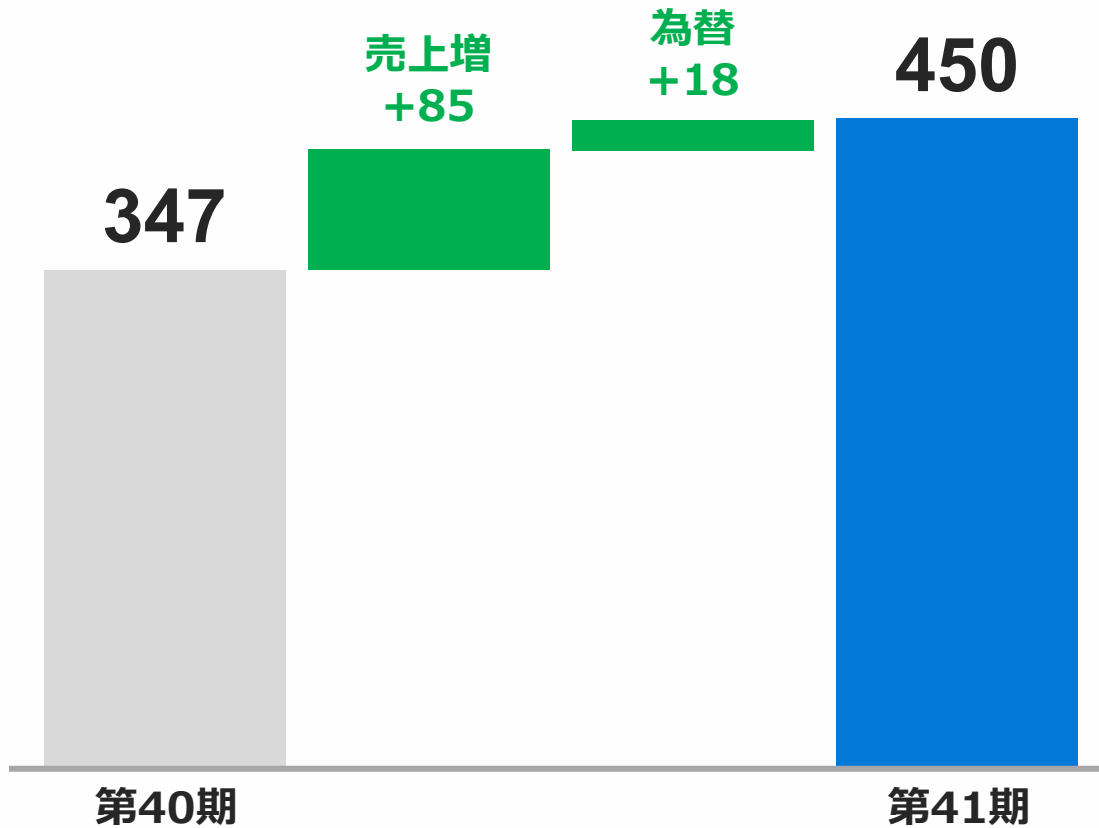
親会社株主に帰属する  
当期純利益  
+1,386.7%



# 売上高の増減要因

(単位：億円)

## 売上高



円安により18億円の増収

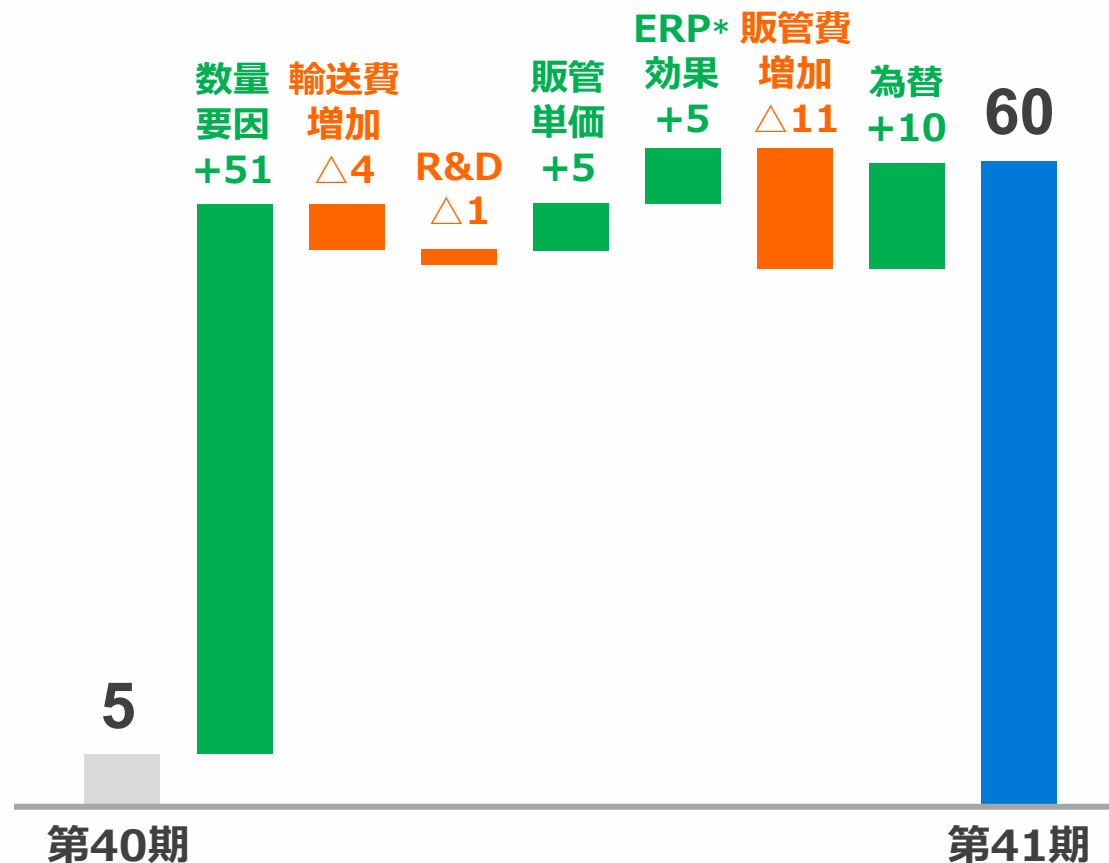
合計で103億円の増収

期中平均レート(円)	第40期	第41期	
USD	106.83	109.81	102.8%
EUR	121.86	129.93	106.6%

# 営業利益の増減要因

(単位：億円)

## 営業利益



海上輸送費の上昇によるマイナス4億円

研究開発費、販管費の増加などが利益を下押し

増収による増益51億円

販売単価の上昇と固定費削減によりそれぞれプラス5億円

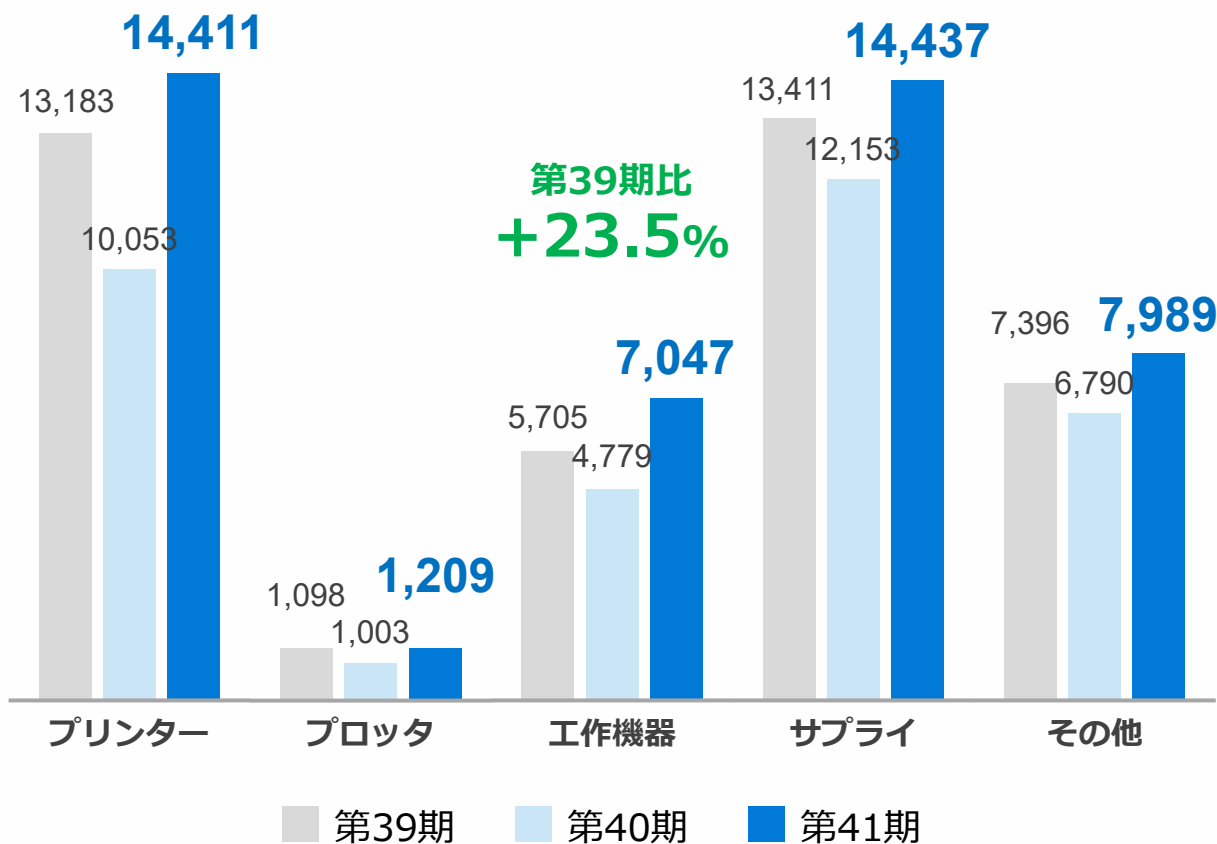
円安によるプラス10億円

\*早期希望退職制度 (Early Retirement Program)

期中平均レート(円)	第40期	第41期	
USD	106.83	109.81	102.8%
EUR	121.86	129.93	106.6%

# 第41期 品目別売上高

(単位：百万円)



## プリンター

- 設備投資需要は回復
- 欧米を中心にサイン出力の需要が拡大
- 小型の卓上型インクジェットプリンターの導入が進む

## プロッタ

- サイン市場向け大型新モデルが増加
- 卓上型カッティングマシンが増加

## 工作機器 (DGSHAPE)

- デンタル加工機の販売が好調
- 欧米を中心に需要回復
- 新興国地域でデンタル加工機の販売が増加

## サプライ その他

- プリンターの出力需要が改善
- インクなどの消耗品やサービスパーツの販売が増加

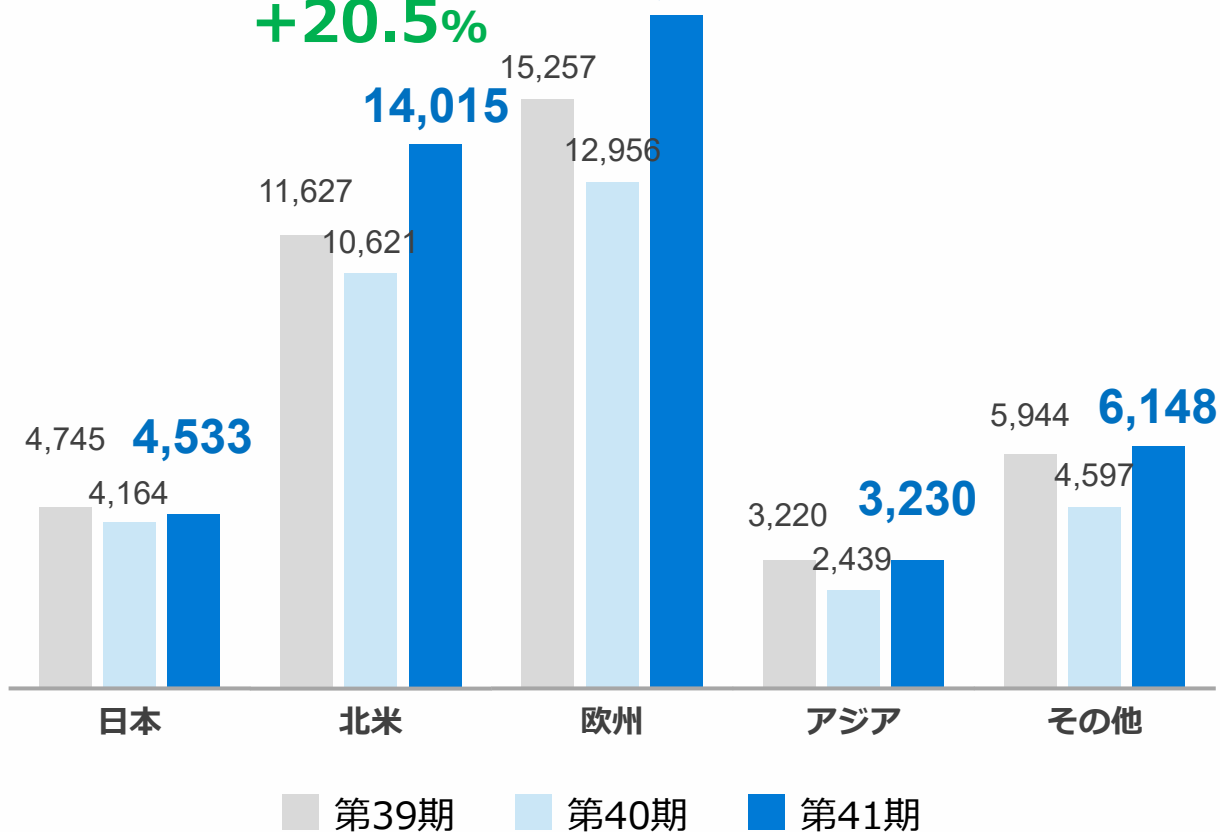


# 第41期 地域別売上高

(単位：百万円)

第39期比  
**+12.5%**

第39期比  
**+20.5%**



## 日本

- ・プリンターやデンタル加工機の販売が増加
- ・出力需要の回復は低調で、サプライのインク販売は前期並み

## 北米

- ・プリンター、デンタル加工機を中心に販売が大幅に増加
- ・卓上型プリンターが前期・前々期比で増加

## 欧州

- ・プリンター、デンタル加工機ともに需要が堅調に推移
- ・為替の円安も売上に寄与

## アジア

- ・中国やインドでデンタル加工機が増加

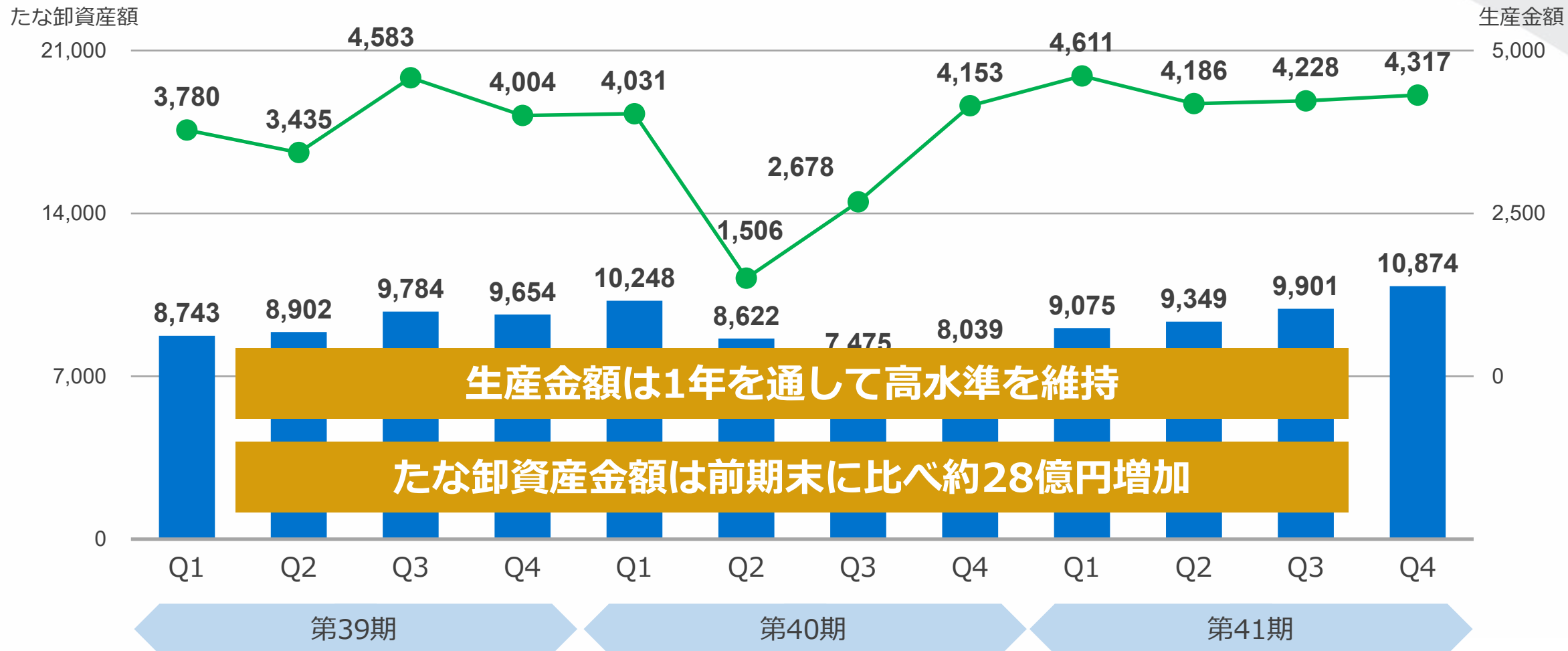
## その他

- ・豪州、中南米、アフリカ、中東地域の販売が好調に推移

# たな卸資産額と生産実績の推移

■ たな卸資産額 ● 生産金額

(単位：百万円)

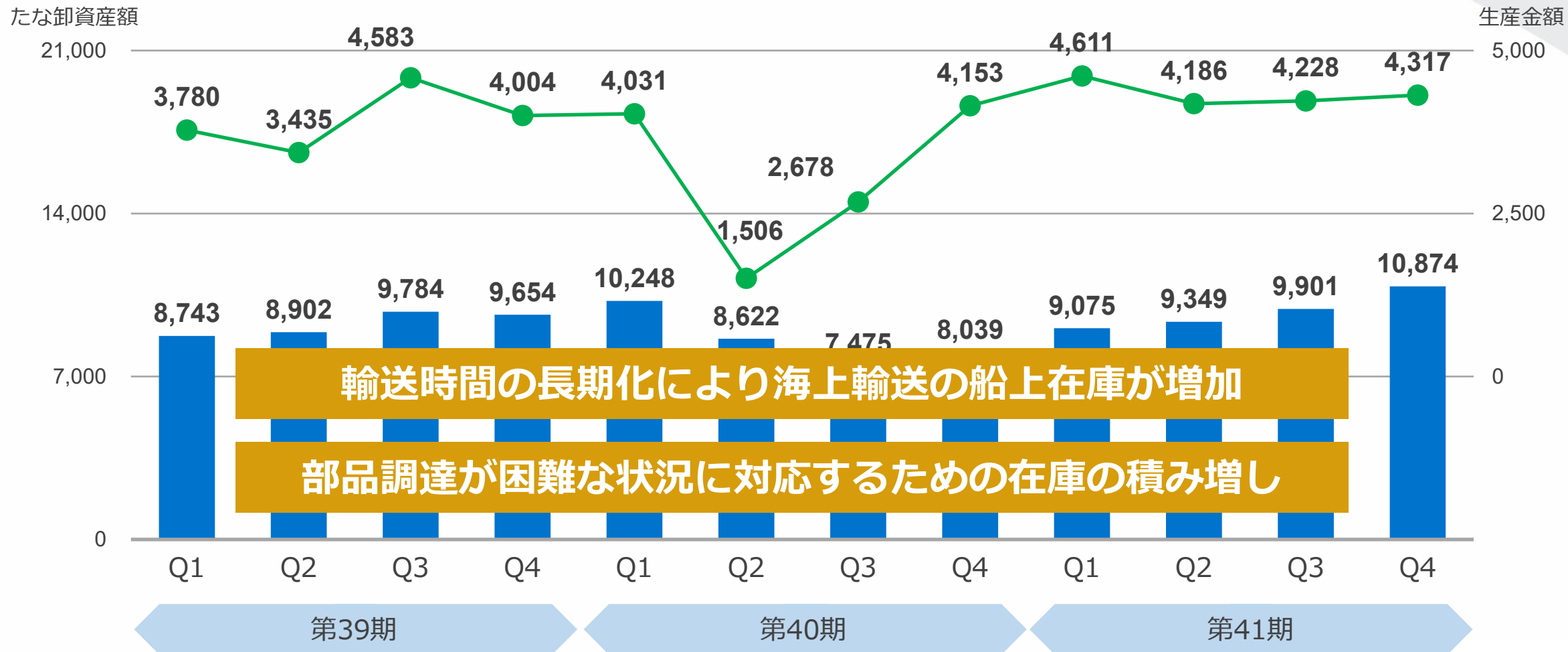


# たな卸資産額と生産実績の推移

■ たな卸資産額

● 生産金額

(単位：百万円)



輸送時間の長期化により海上輸送の船上在庫が増加

部品調達が困難な状況に対応するための在庫の積み増し

# 連結貸借対照表

総資産 429億69百万円

有利子負債 返済完了  
(前期末比△14億40百万円)

- 現金及び預金  
+ 16億23百万円
- 受取手形及び売掛金  
+ 3億4百万円
- たな卸資産  
+ 28億35百万円

- 繰延税金資産  
+ 8億8百万円
- 使用権資産  
+ 5億95百万円

流動資産  
313億11百万円

固定資産  
116億57百万円

資産の部

流動負債  
108億76百万円

固定負債  
32億93百万円

純資産  
287億97百万円

自己資本比率 67.0%

負債・純資産の部

- 支払手形及び買掛金  
+ 9億44百万円
- 未払金  
+ 9億47百万円
- 未払法人税等  
+ 12億82百万円

- リース債務  
+ 6億2百万円

- 利益剰余金  
+ 31億円
- 為替換算調整勘定  
+ 5億30百万円

# 第42期（2022年度） 連結業績予想

# 第42期の方針

## 第42期の方針

- 1 パーソナライズ分野と、カスタマイズ分野の開拓と販売拡大
- 2 成長を期待するデンタル市場において、新興国市場での販売強化と歯科クリニックへの展開
- 3 サイン市場向けにおける顧客基盤の維持と収益の確保

## 第42期の連結業績予想

### 業績予想の前提

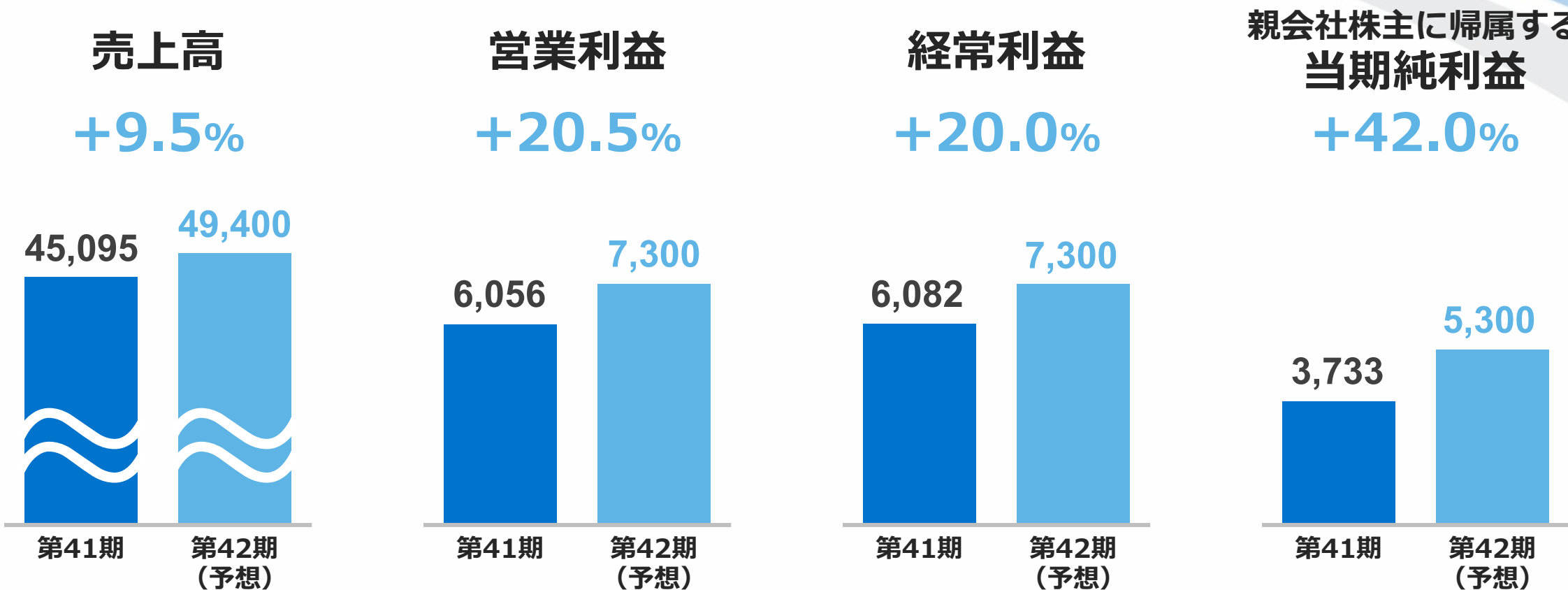
- ❖ コロナ禍での感染対策と経済活動の両立に向けた回復基調は持続し、当社の事業分野において需要拡大は続く
- ❖ 部品調達が困難な状況は下半期より通常レベルに戻ると仮定、供給面への影響は上半期まで

顧客の設備投資の回復需要を取り込むほか、  
成長分野の拡大にも取り組み売上高は増収となる見通し

早期希望退職の実施による固定費削減効果もあり増益となる見通し

# 第42期 連結業績予想

(単位：百万円)



達成すると売上高・当期純利益ともに過去最高

第42期想定

113.00 102.9%

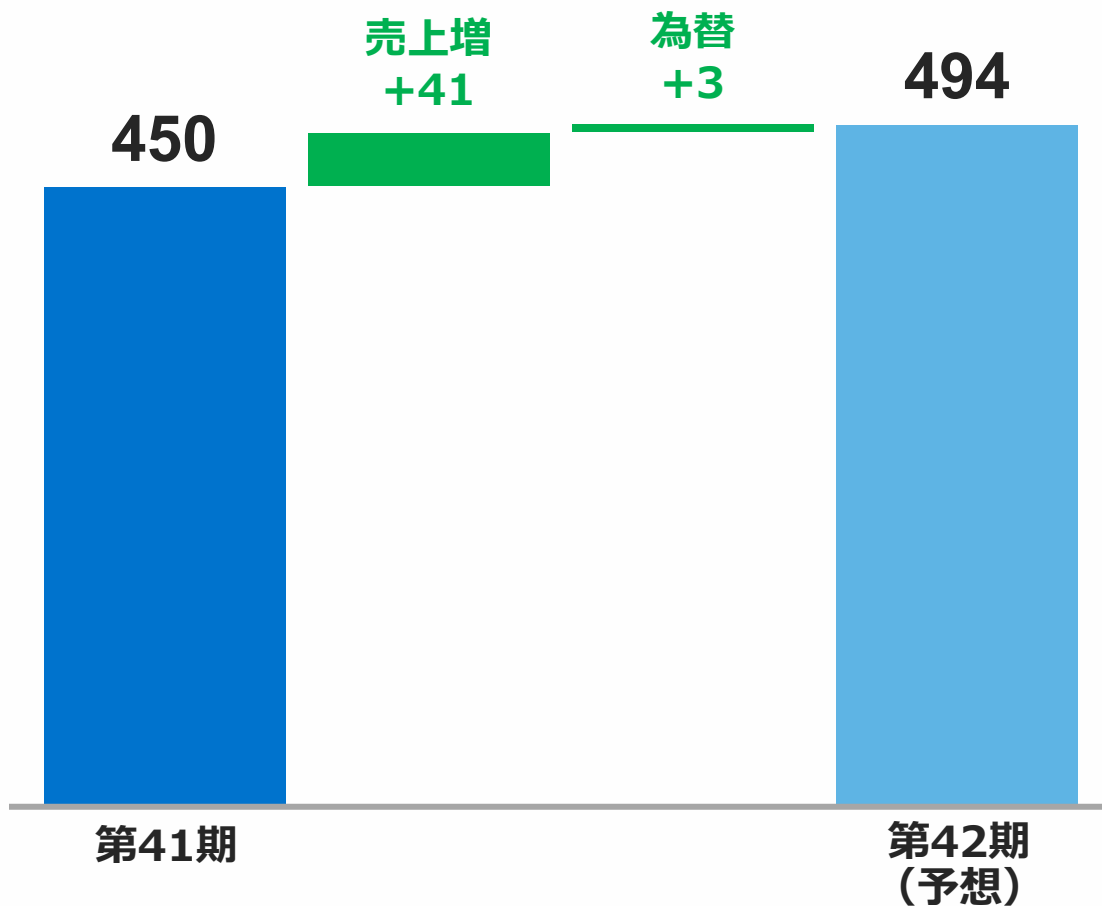
EUR 129.95 128.00 98.5%



# 第42期 売上高の増減要因の予想

(単位：億円)

## 売上高



売上増加によりプラス41億円

円安によりプラス3億円

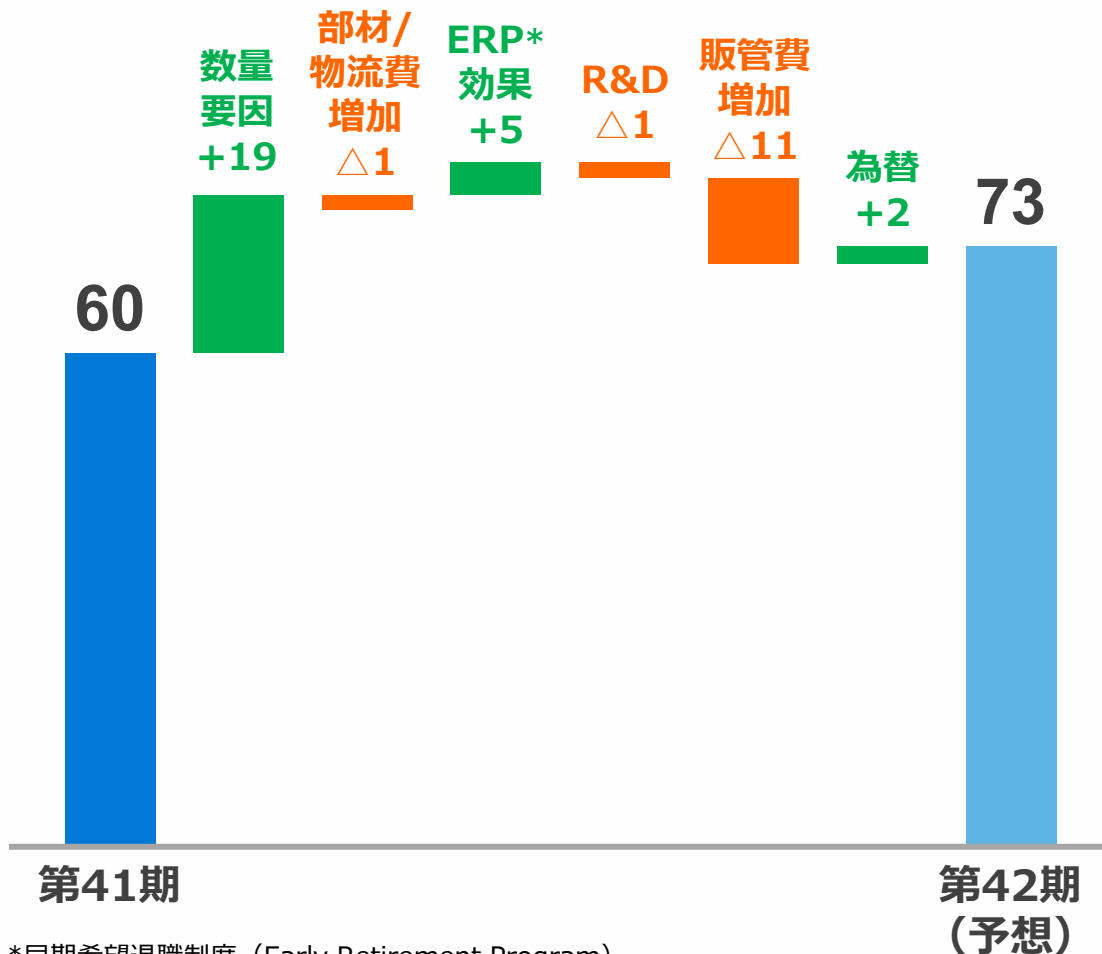
結果44億円の増収となる見込み

期中平均レート(円)	第41期	第42期想定	
USD	109.81	113.00	102.9%
EUR	129.93	128.00	98.5%

# 第42期 営業利益の増減要因の予想

(単位：億円)

## 営業利益



部材費および物流費の高騰が継続により約1億円の悪化

研究開発費、販管費の増加が利益を下押し

早期希望退職制度の効果により5億円寄与

円安によりプラス2億円

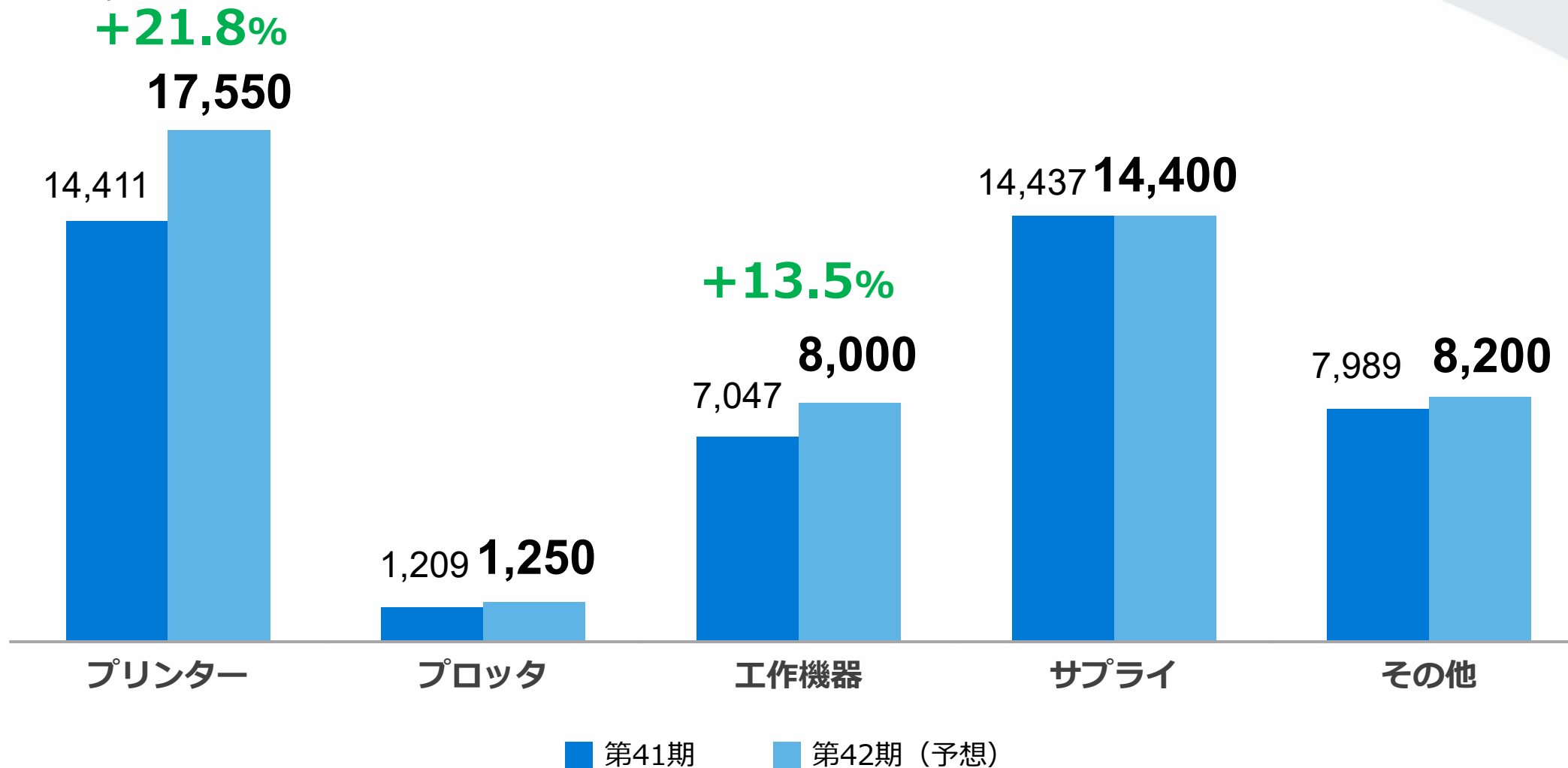
結果13億円の増益となる見込み

期中平均レート(円)	第41期	第42期想定	
USD	109.81	113.00	102.9%
EUR	129.93	128.00	98.5%

\*早期希望退職制度 (Early Retirement Program)

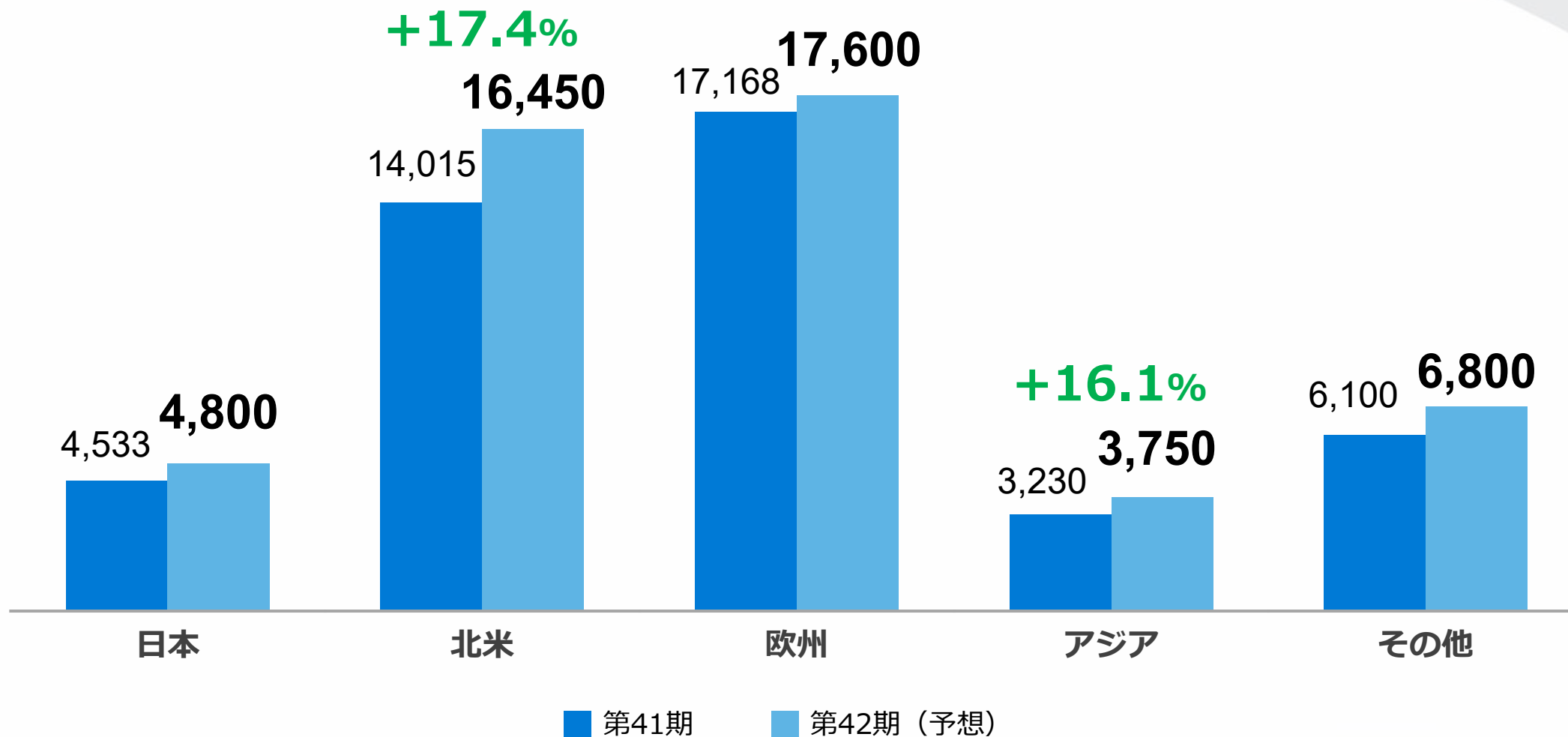
# 第42期 品目別売上高予想

(単位：百万円)



# 第42期 地域別売上高予想

(単位：百万円)



本資料に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しです。これらは現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

# ！ウクライナ情勢に関する対応について

ローランド ディー.ジー.は、世界中の皆様と同じようにウクライナ及び近隣諸国の人々の安全を憂慮しており、一刻も早く平和な世界が戻ることを心から願っています。

ロシアにおける事業につきましては、従業員の安全・安心を確保することに加えて人権尊重の観点からも、当面の間、ロシアへの当社製品の輸出・販売を停止致します。再開時期につきましては、情勢を見守り適切な時期に判断する予定です。また、現時点で当社の業績に及ぼす影響は軽微です。

引き続き状況を注視しながら適宜適切な対応を行ってまいります。

最後に、この深刻な状況が一日も早く解決することを強く願います。

# 中期経営計画(2021-23) の進捗

# 現2021-23中期経営計画 概要（再掲）

## 基本戦略

### 事業ポートフォリオの転換

- ・ 既存事業の徹底した効率化
- ・ 新興国・新領域への展開

2021-23 中計  
基本戦略

### 筋肉質な企業体質への変革

- ・ 製造拠点集約
- ・ 固定費削減
- ・ 経営体制・組織刷新

## 計数目標

### 計数目標

	FY2019	FY2020	FY2023
売上高	408億	348億	480億 + α
新事業売上高 (構成率)	-	25億 / 7%	100億 / 20%
営業利益 (率)	28億 / 6.8%	5億 / 1.7%	60億 / 12.5%
ROE	7.9%	1.0%	15%
ROIC	6.5%	0.6%	15%
CCC	163	141	120
配当性向 / DOE <sup>1</sup>	32% / 2.5%	50% / 0.5%	30% / 2%

1. Dividend on Equity: 純資産に対する配当割合

25

Roland



# 基本戦略進捗：構造改革は順調に実行

## これまでの主な実施事項

- 国内早期希望退職制度の導入・完了
- タイへの量産機能移管を実施
- 経営体制を刷新
- 経営の見える化や意思決定の迅速化



13億円（年換算）相当の  
固定費削減を初年度にて実現

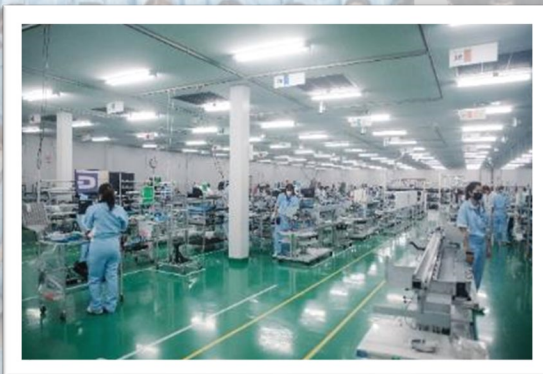
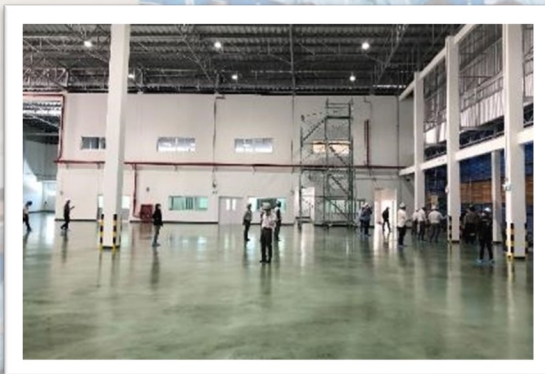
目指していた、  
**「筋肉質な企業体質」**に向けて  
大きく前進

# タイ工場への量産機能の集約

## 倉庫機能増強の為の増床工事

■ 2022年1月工事完了

■ 2月11日に記念式典を開催しました

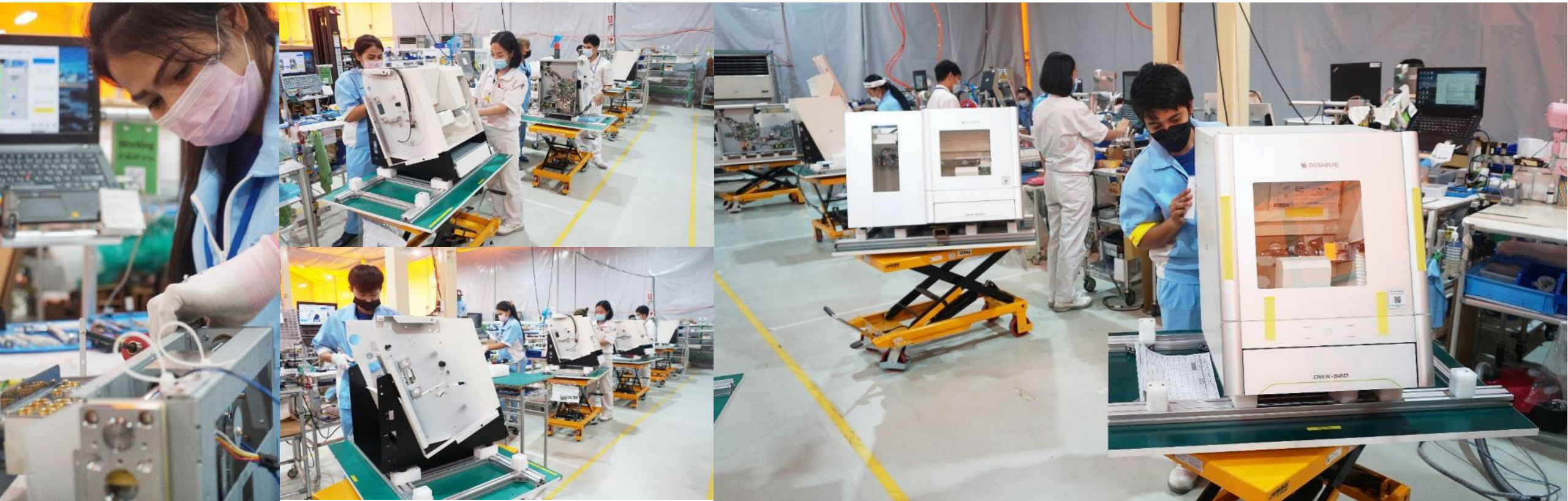




# デンタル加工機の生産移管

## ■ 当初計画どおり2021年度で完了

- ・ タイ工場ではこれまでプリンターの量産機種を中心に生産。タイへの生産集約により新たにデンタル加工機の生産を開始
- ・ 作業者を支援する当社独自の生産方式により、製品の品質を保持します



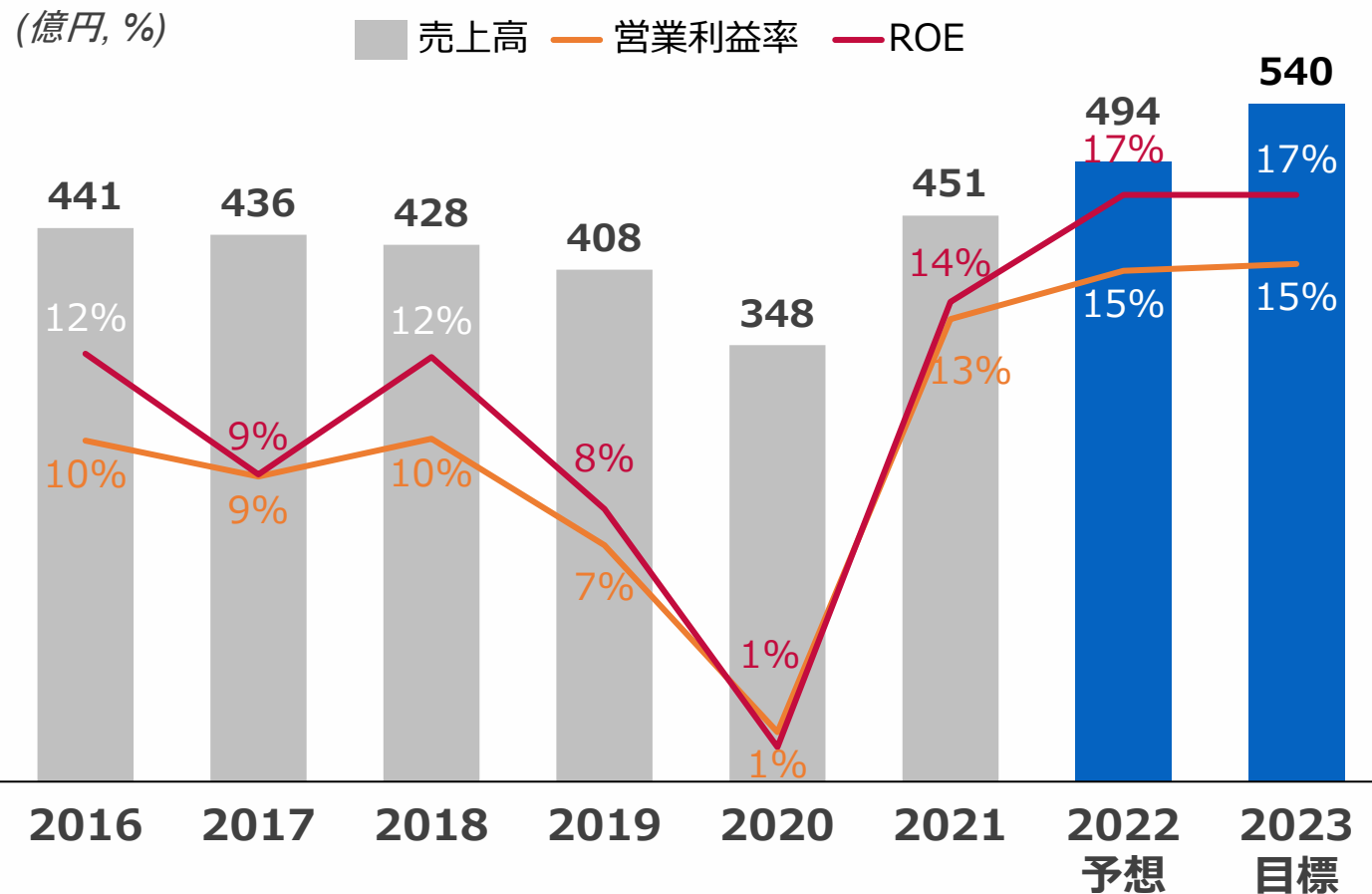
# | 計数目標を引き上げ、さらなる企業価値の向上を目指す

	Actuals				中計目標	
	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	当初目標 FY2023	<b>New</b> FY2023
売上高	408億	348億	450億	494億	480億	540億
営業利益 (率)	28億 / 6.8%	5億 / 1.7%	60億 / 13.4%	73億 / 14.8%	60億 / 12.5%	80億 / 14.8%
ROE	7.9%	1.0%	13.9%	17%	15%	17%
ROIC	6.5%	0.6%	13.0%	-	15%	15%
CCC	163	141	147	-	120	120
配当性向 / DOE※	32% / 2.5%	50% / 0.5%	33% / 4.6%	30% / -	30% / 2%	30% / 2%
FX Rate (USDJPY/EURJPY)	109/122	107/122	110/130	113/128	100/125	113/128

※ Dividend on Equity: 純資産に対する配当割合

# 高収益率・高資本効率を維持しつつ、成長路線へ回帰

2016以降の業績推移、今期ガイダンスおよび中計目標



- '21-'23で年率9-10%の**売上成長**を目指す
- 引き続き、**高収益率・高資本効率経営**を目標とする

# 「事業ポートフォリオの転換」戦略アップデート

## 背景

今後、事業ポートフォリオ転換（成長戦略）に軸足を移すうえで、**戦略の見直し**を実施

## アップデート 概要

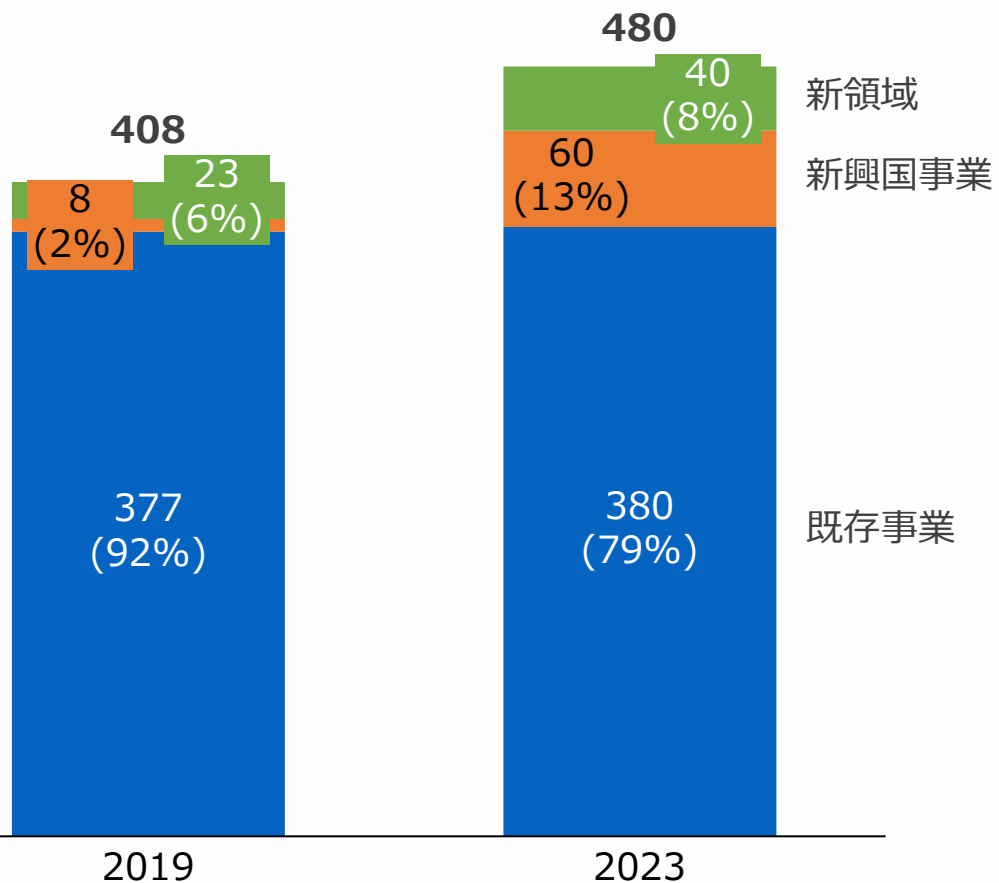
- **製品カテゴリ**で戦略区分を再定義し、当社の**成長・安定領域を明確化**
- 各カテゴリ単位で製品戦略～販売戦略を立案・実行し、特に**成長領域に対しては積極的に経営資源を配分**していく
- 上記により、溶剤プリンター（安定領域）から成長領域への**事業ポートフォリオの転換**を目指す



# 「成長領域」の拡大により売上目標540億達成を目指す

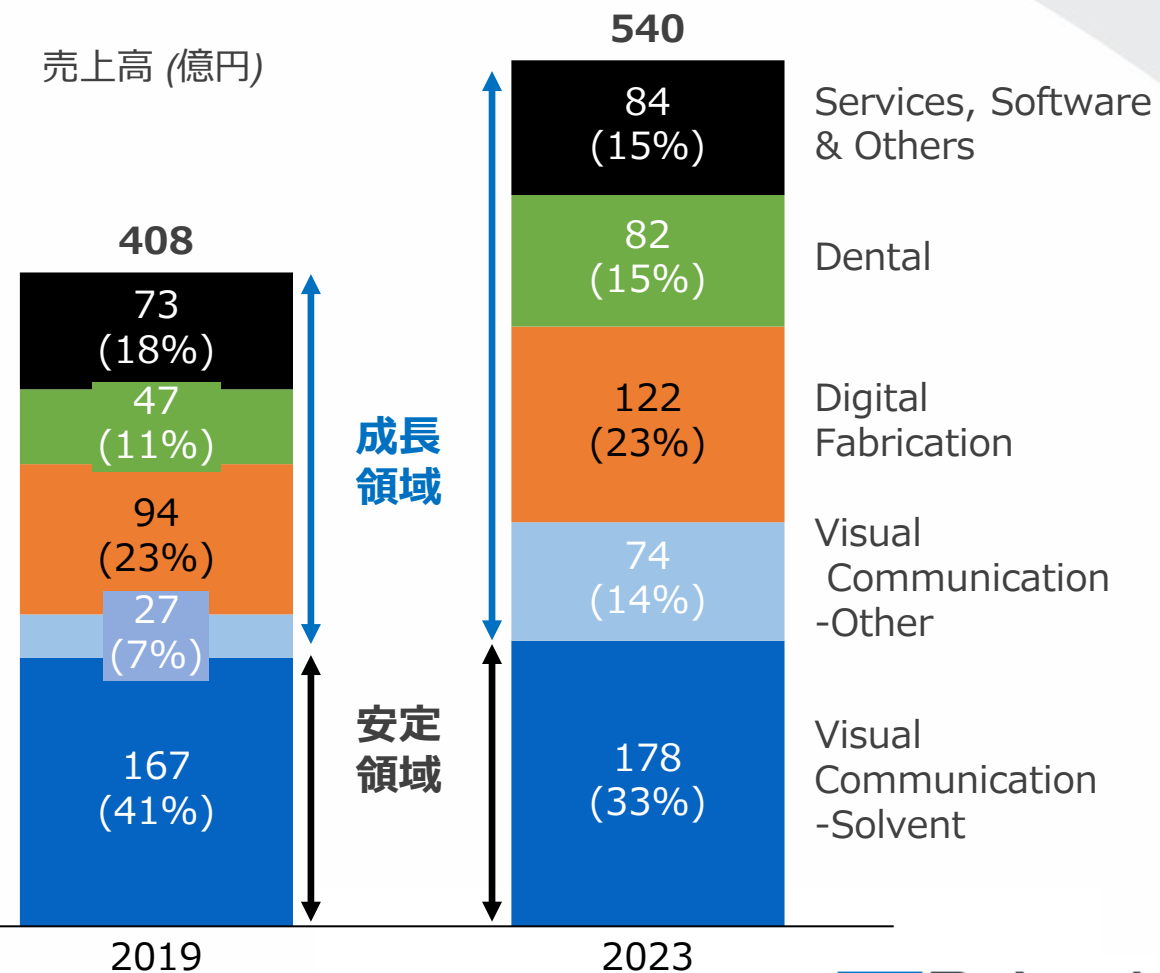
当初中計区分

売上高 (億円)



新中計区分

売上高 (億円)



# Visual Communication Solvent / Other

Act. Growth

Fcst. Growth

**+13%**

CAGR  
('19-21)

**+45%**

CAGR  
('21-23)

**+0%**

CAGR  
('19-21)

**+3%**

CAGR  
('21-23)

VC-Other

VC-Sol

売上高 (億円)

195

27

167

2019

203

35

168

2021

252

74

178

2023

VC-Other

VC-Sol

## 市場の見立て

- **Visual Communication ≠ 屋外看板**、市場全体は緩やかに成長
  - 屋外看板は成熟傾向。一方、**ディスプレイや装飾などの消費者への視覚的訴求 (= Visual Communication)** ニーズは拡大
- 一部溶剤インクからUV・水系などその他インクへの切り替えニーズを想定

## 当社戦略

- 溶剤インクプリンターではNo.1のポジショニングを堅持
- その他インクタイプにてシェアを獲得、新興国でのシェア伸長
- インクの多様化により、将来の新用途・新市場開拓のための基盤を構築



### カテゴリ概要

**アプリケーション:**

サイン、ディスプレイ、店舗内装、バナー、カーラッピングなど

**主要顧客:**

サイン・ディスプレイ印刷業者

**製品:**

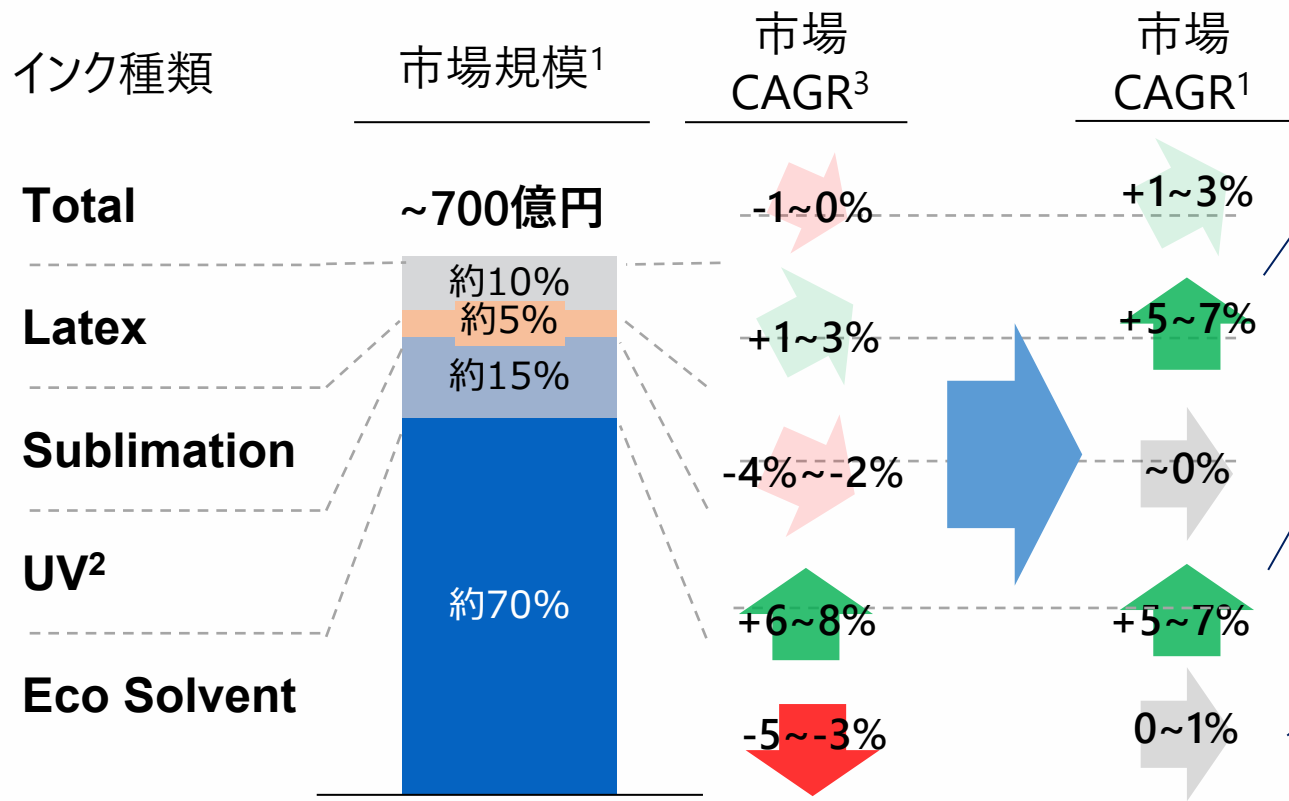
溶剤大判ロール型プリンター、インク (VC-Solvent)

その他大判ロール型プリンター、カッター、インク (VC-Other)



# Visual Communication 市場動向アップデート

## VC市場環境



### 水系

エコフレンドリーインクのニーズ拡大

### UV

LECシリーズの発売によりUV(Roll to Roll)におけるシェア獲得

### ソルベント

成長率はほぼ横ばいだが、サイズが大きく収益性も高いため、今後も当社ポジションを堅持

1. リサーチ会社データをもとに当社推計 (2021時点)
2. Flatbed 等を除いたRoll to Roll 機のみ
3. 2019年時点

# 新製品情報 (2022年3月1日発表)

広告・看板製作用大判インクジェットプリンターのラインナップを一新  
2016年発売開始からシリーズ累計販売台数**23,000台突破**の主力製品群



NEW

## TrueVIS

VG3-640 VG3-540 SG3-540 SG3-300

顧客基盤  
の維持

- 画質、生産性、Print&Cut機能で、顧客の多様なニーズ、用途に応える
- 3年ぶりのフルモデルチェンジで需要を喚起、市場を活性化

収益確保

- VC-Solventの売上の中核
- 新プラットフォームの1号機  
製品開発の効率化と開発コスト削減

# Digital Fabrication

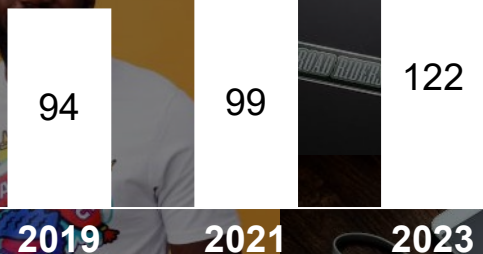
Act. Growth

Fcst. Growth

**+3%**  
CAGR  
(’19-21)

**+11%**  
CAGR  
(’21-23)

売上高 (億円)



## 市場の見立て

- **パーソナライズトレンド**を背景に、スモール・セミインダストリアル事業者による「ちょっとした加飾・加工」へのニーズは今後も拡大
- コロナ禍でオンラインを含めた**スモールビジネス向けのチャネル構築**が奏功

## 当社戦略

- 従来とは異なる顧客層にむけたチャネル構築やマーケティングをグローバルで展開
- 外部パートナーとの協力やCo-Creation活動による、ラインアップ製品拡大



VersaUV Series  
(LEF2)



VersaSTUDIO  
(BN-20/20A)



LEC2 S-Series



METAZA (MPX)

### カテゴリ概要

アプリケーション：

小物デコレーション、ステッカー、立体物加飾、小物彫刻・マーキング

主要顧客：

スモール・セミインダストリアルビジネス、個人事業主、リテールショップ

製品：

卓上プリンター、加飾用プリンター、工作用ミリングマシン

# Digital Fabrication 事例

## プリンター

パーソナライズ需要を捉え、**スモールBiz市場**の開拓をグローバル展開

- ・ホームオフィスなどで小型製品需要が拡大
- ・幅広いターゲット層へ、eコマースなどの販売チャネルも拡充
- ・小型Print&Cut機、Tシャツプリンターなど幅広いラインアップ



**VersaSTUDIO  
BN-20**



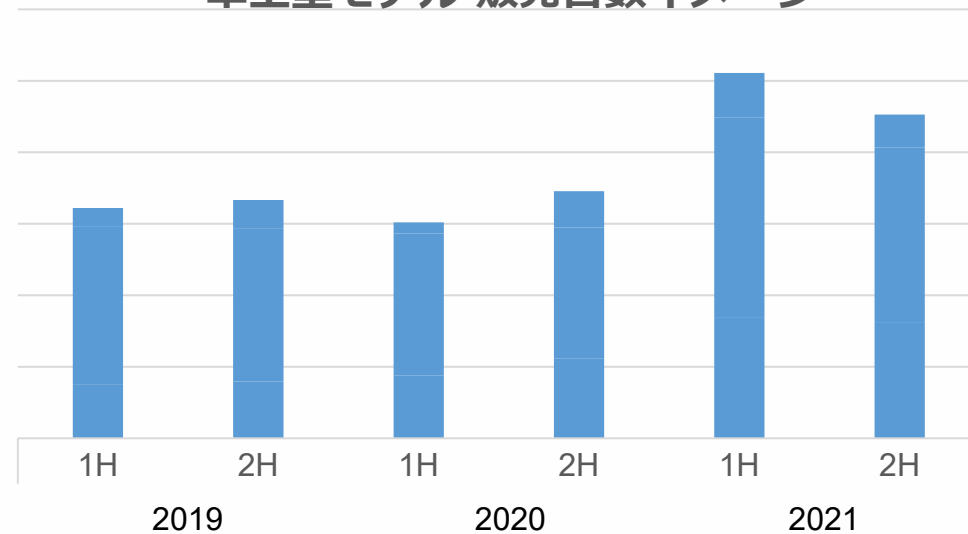
**VersaSTUDIO BT-12**



**CAMM-1  
GS-24**



卓上型モデル 販売台数イメージ





# Digital Fabrication 事例

Co-Creation

欧州での実績を北米やアジアなどへ2022年より横展開

- ・ 厚物印刷用UVプリンターが欧州で順調に推移
- ・ 北米やアジア、豪州などへの横展開を加速する
- ・ スクリーン印刷に替わるオンデマンド印刷で加飾需要を開拓



**LEC2-640 S-Series**



(C) Multicopy The Communication Company  
YouTube | 00:41

# Dental

Act. Growth

Fcst. Growth

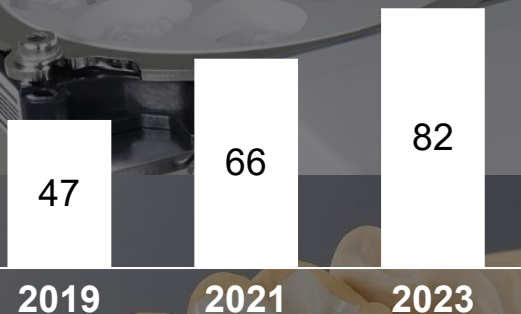
**+19%**

CAGR  
('19-21)

**+12%**

CAGR  
('21-23)

売上高 (億円)



## 市場の見立て

- 長寿化により、**デンタル分野は今後も長期的に高い成長**を見込む
- 先進国での**メタルフリー歯科材料へのニーズ**の高まりや、**新興国でのデジタル化の加速**により引き続き年率10%以上の成長を想定

## 当社戦略

- 現在の主市場（先進国・ラボ）における**ポジショニングを維持**
- 歯科ワークフローのデジタル化が加速する新興国市場において**販路を強化**
- 歯科クリニック市場への**拡大**や、用途拡大（デンチャー・インプラントなど）によりさらなる成長を目指す



DWX-52DCi



DWX-52D



DWX-42W

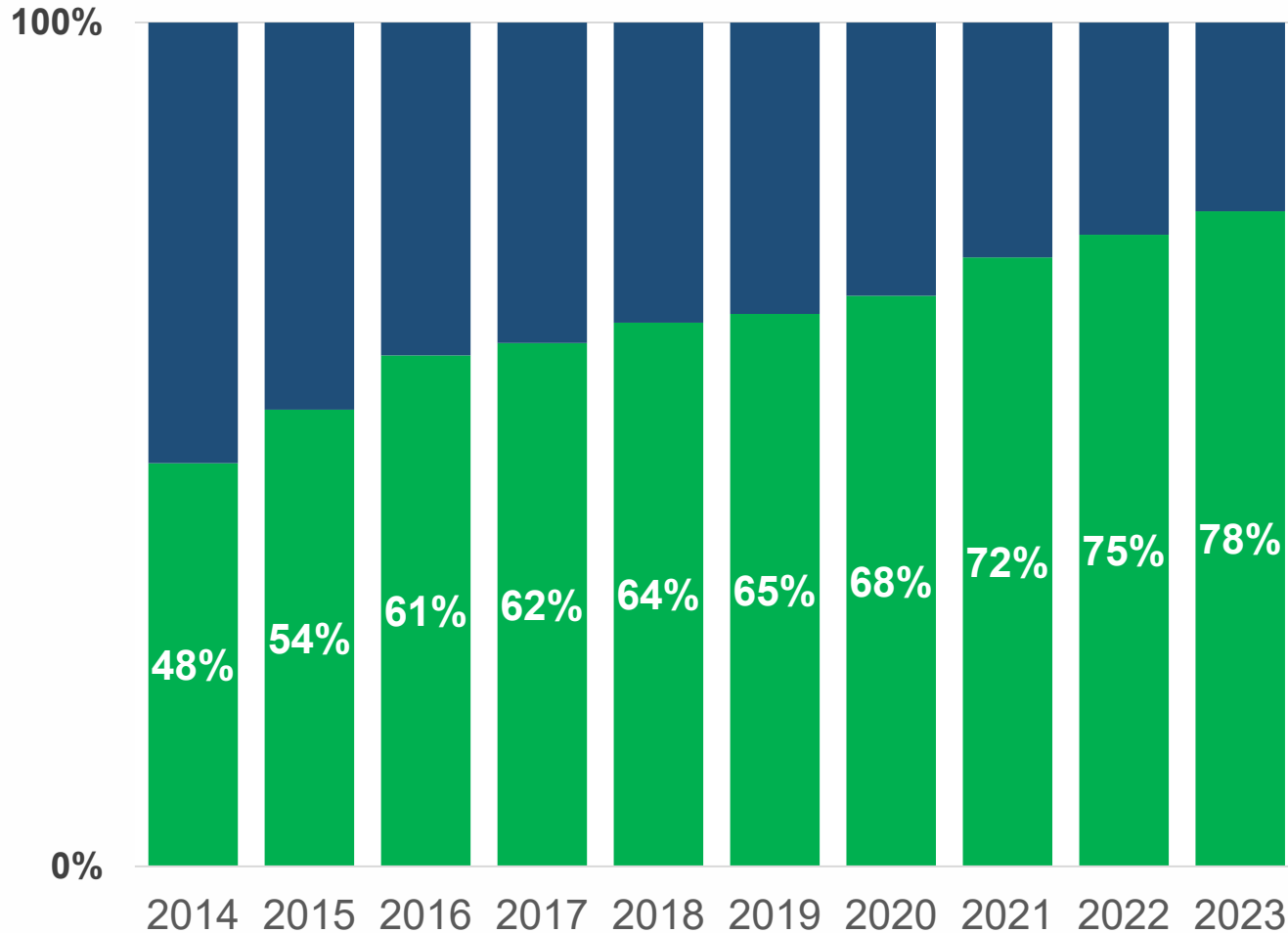
### カテゴリ概要

- アプリケーション：** クラウン・ブリッジ、デンチャー（入れ歯）、インプラントなどの歯科補綴物製作
- 主要顧客：** 歯科技工所、歯科クリニックなど
- 製品：** 歯科用ミリングマシン

# セラミック材料の拡大でデンタル加工機の需要増を見込む

クラウン&ブリッジ材料別推移（北米）

■ セラミック ■ メタル

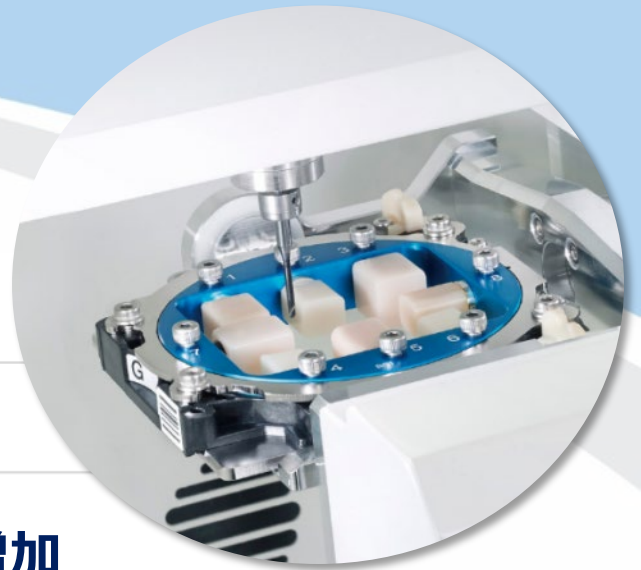


## 金属材料からセラミック材料へ

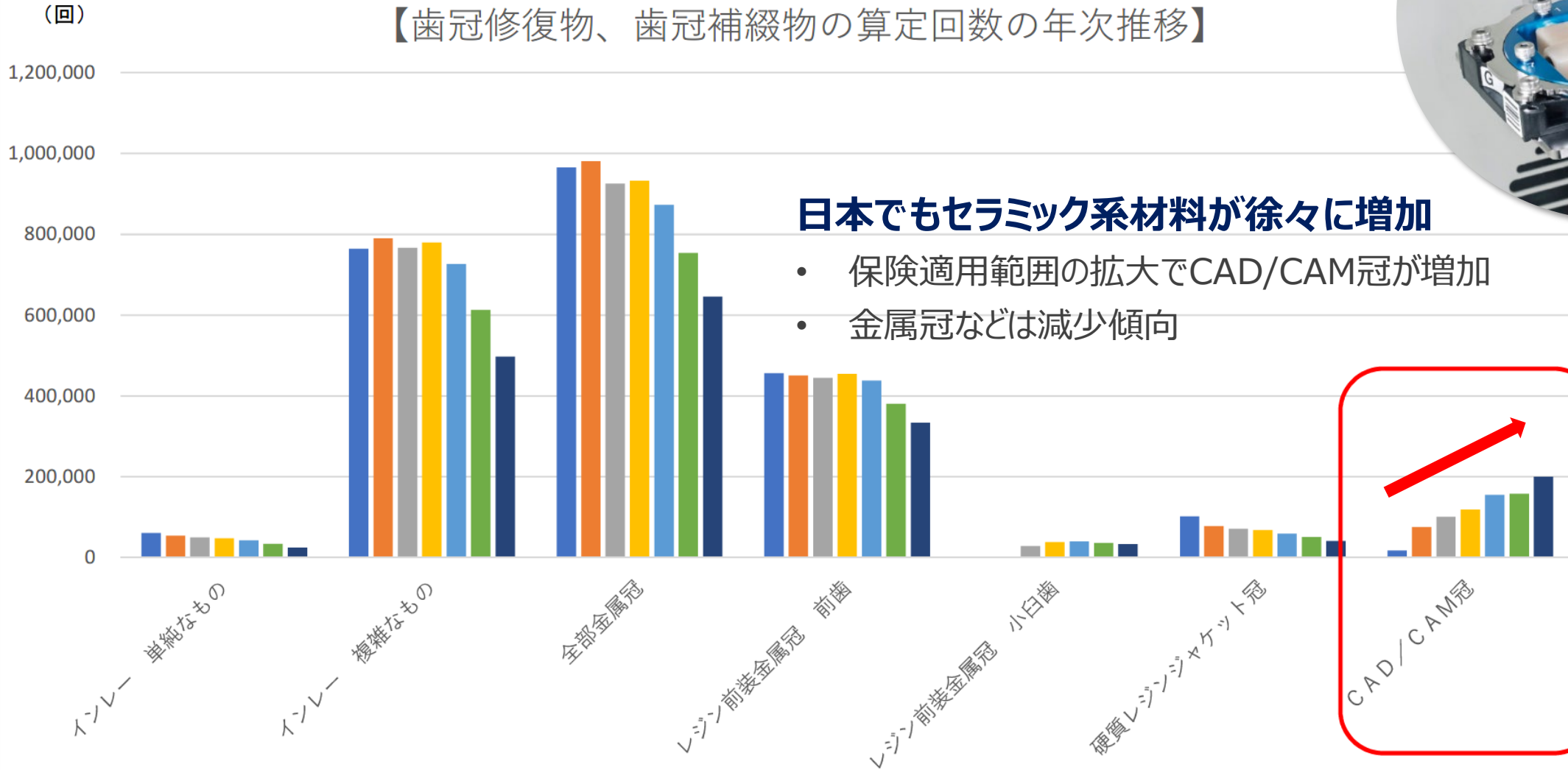
- ジルコニアなどのセラミック材料は人体親和性や審美性に優れる
- 金属価格高騰の背景あり
- CAD/CAMワークフローの普及
- 北米のセラミック比率はおよそ80%へ上昇



# 参考 日本におけるCAD/CAM冠の推移

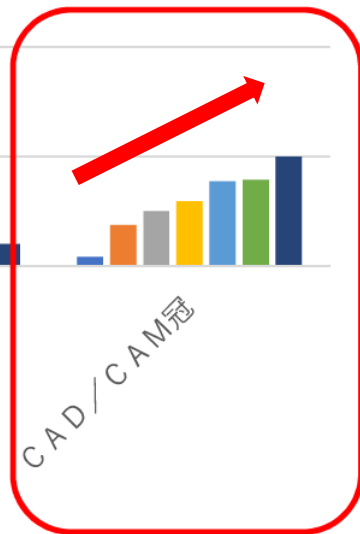


【歯冠修復物、歯冠補綴物の算定回数の年次推移】



## 日本でもセラミック系材料が徐々に増加

- 保険適用範囲の拡大でCAD/CAM冠が増加
- 金属冠などは減少傾向



■ 2014年 ■ 2015年 ■ 2016年 ■ 2017年 ■ 2018年 ■ 2019年 ■ 2020年

※出典：厚生労働省 歯科技工士の業務のあり方等に関する検討会資料より





新興国でもデジタル化が成長段階へ





# Service, Software & Others

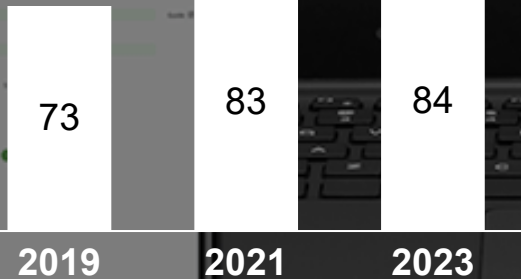
Act. Growth

Fcst. Growth

**+7%**  
CAGR  
('19-21)

**+1%**  
CAGR  
('21-23)

売上高 (億円)



## 市場の見立て

- 従来「受け身」「コストセンター」と捉えられていたサービス分野が、今後IoT・Connected 技術により進化
- 各事業分野においても**ハード・ソフトを融合した付加価値の提供機会**が増加

## 当社戦略

- リペア・サービスメニューのアップグレードにより、顧客のダウンタイム削減と当社の収益性改善
- Roland DG Connectの展開による、エンド顧客との接点確立
- ソフトウェア (SaaS) など、新しい価値提供や収益機会を創り出すための種まき



### カテゴリ概要

- 製品:** スパースーツ、保守・メンテナンスサービス、ソフトウェア・アプリ など
- 主要顧客:** VC、DPF、Dental分野での各顧客

# 世界中でユーザー数が拡大中 - コネクテッドサービス -

## Roland DG Connect

for Everything Creative

※ 2021年4月リリース

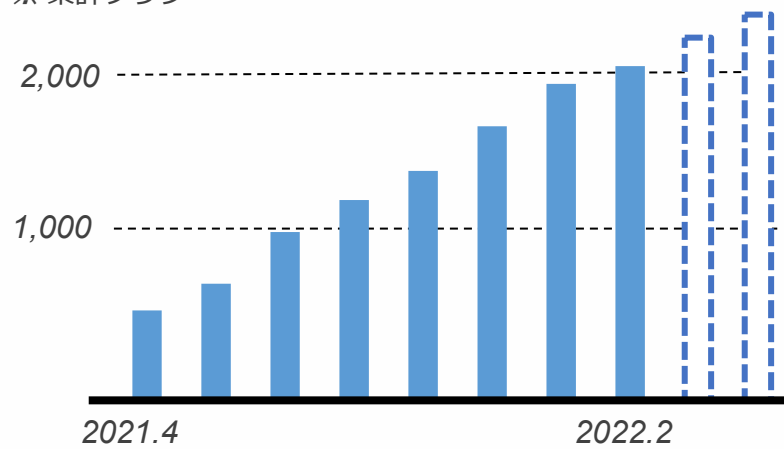
万が一エラーが発生した時も、製品の稼働状態や履歴などの情報をもとに的確な修理が行えるため、お客様のダウンタイムを低減



対象製品：プリンター



※ 累計グラフ



ユーザー数  
2,000突破

## DWINDEX2

※ 2021年7月リリース

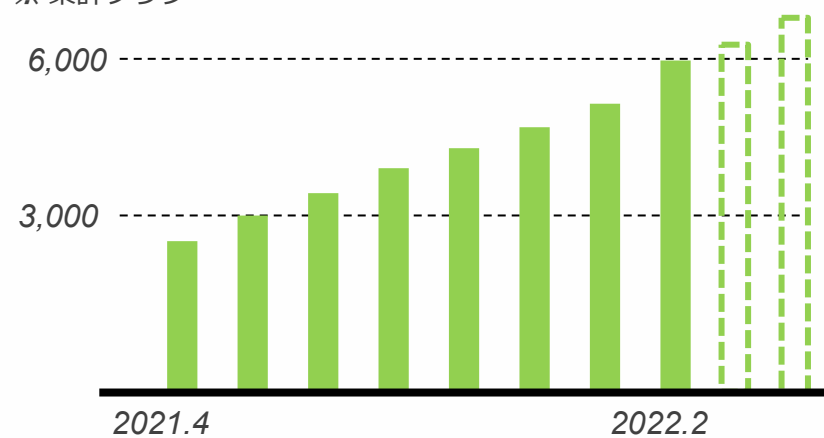
デンタル加工機の稼働状況の見える化など、効率的な事業運営を支援するソフトウェア



対象製品：デンタル加工機



※ 累計グラフ

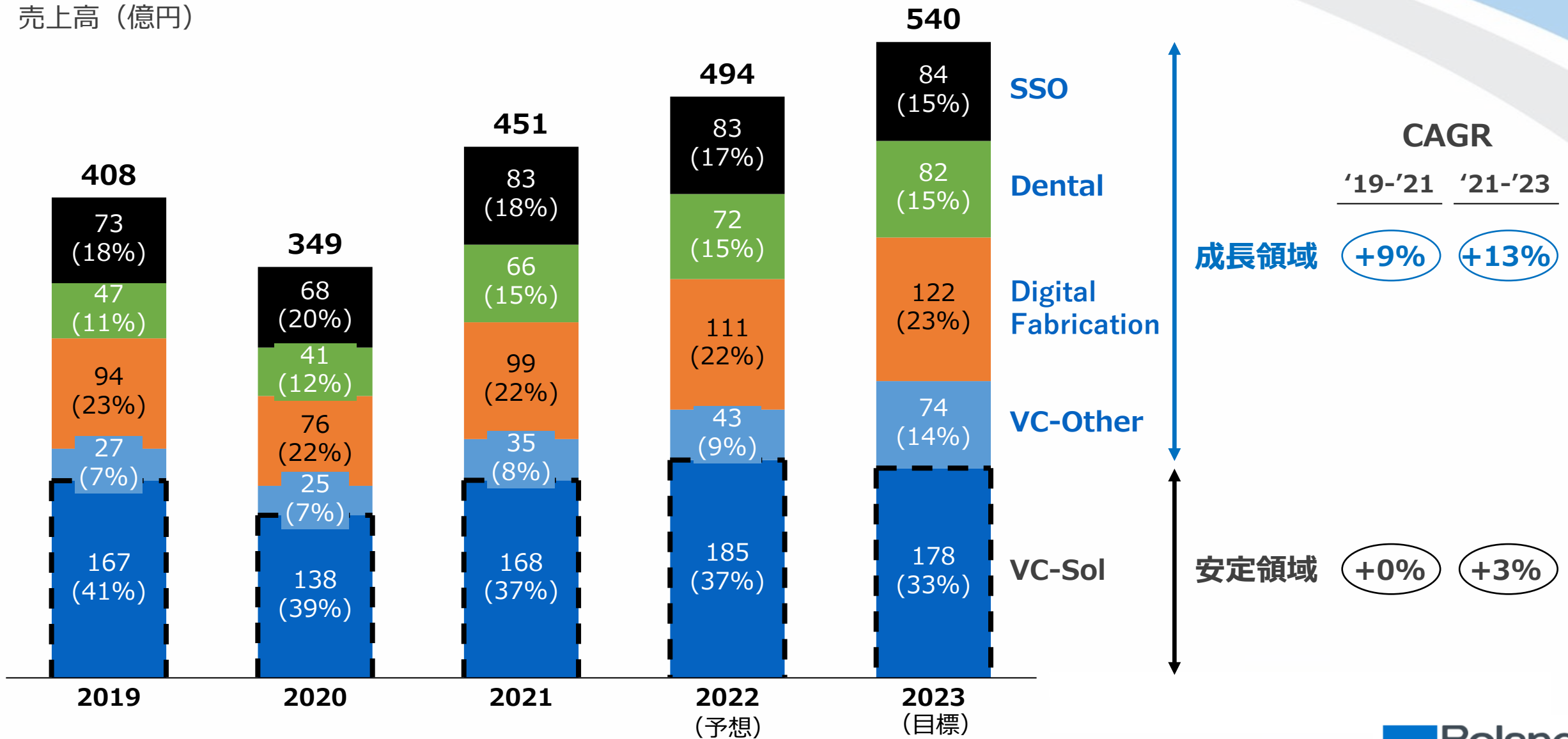


ユーザー数  
6,000突破

将来の収益化に向けた布石

# 以上により、成長領域の比率を拡大（=ポートフォリオ転換実行）

売上高（億円）



# ESGの取り組み

## **E**nvironment (環境)

---

- ・ 環境に配慮した非溶剤インクソリューションの強化
- ・ 本社と事業所の全電力を再生可能エネルギー CO2フリー電気へ切り替え
- ・ 環境に優しいモノづくりの推進

\*2022年1月開始

## **S**ocial (社会)

---

- ・ デンタルや医療支援システムによる人の健康、安全の向上
- ・ 働き方改革 在宅勤務、フレックスタイム制度
- ・ セールスプロモーション活動、サービス活動のDX化の推進

## **G**overnance (ガバナンス)

---

- ・ 迅速な意思決定 取締役会のスリム化、決裁権限の変更
- ・ 透明性強化 独立社外取締役が過半数かつ議長を務める指名・報酬委員会設置
- ・ 取締役会の多様性 外国人、女性、幅広い経験と知見を有する多様な役員構成  
(本総会決議後、決定)



# 浜松市のワクチン接種会場のサイン製作をサポート

- ・ 浜松市内の大規模接種会場の受付案内や誘導表示等の掲示物を当社プリンターで出力支援
- ・ 海外販売パートナーの協力で英語・ポルトガル語・中国語・ベトナム語・タガログ語(フィリピン)・スペイン語に対応。

当社UVプリンター「VersaUV LEC2-640」で出力



出力使用したデザインデータは、接種会場のサイン製作にご活用いただけるよう当社HPで公開しています (クリックもしくはQRコードからアクセス)

Imagine. BLOG



QRコード



浜松市内3か所の大規模接種会場および11か所の福祉センターに施工されました

※デザインデータの一部

# 取締役・監査役および執行役員の専門性と経験

株主総会ご承認後の予定 ※執行役員は2022年2月時点の体制

氏名	基本スキル					戦略スキル					
	企業経営	製造・技術 研究開発	販売・ マーケティング	財務・会計	コンプライアンス・ リスクマネジメント	オープンイノベーション・ 新事業創出	M&A・ アライアンス	IT/DX推進	コーポレート・ コミュニケーション	サステナビリティ 経営*	グローバル 経験
取締役	田部 耕平	●		●							●
取締役	上井 敏治	●	●		●	●			●		●
取締役	アンドリュー・オランスキー	●		●		●					●
(独立)社外取締役	細窪 政	●			●	●	●				●
(独立)社外取締役	岡田 直子	●		●		●		●	●	●	●
社外取締役	ブライアン・K・ヘイウッド	●		●	●	●	●		●		●
監査役	鈴木 正康				●						●
監査役	長野 直樹				●	●					●
(独立)社外監査役	松田 茂樹	●			●						
(独立)社外監査役	本田 光宏				●	●				●	●
執行役員	倉田 裕司		●					●			●
執行役員	尾藤 寿	●	●			●		●			●
執行役員	香下 隆明		●	●							
執行役員	小川 和宏	●	●	●	●	●	●		●		●
執行役員	トニー・ミラー			●		●	●				●

※サステナビリティ経営にはダイバーシティ&インクルージョン(D&I)、人材育成、SDGsのスキルを含む



# 世界の創造（ワクワク）をデザインします

私たちはモノづくりにおけるゲームチェンジャーとして  
“do more\*”と願うクリエイターたちに寄り添い、  
独創的かつ革新的アイデアで彼らの創造性をインスパイアし、  
世界の創造（ワクワク）をデザインします。

\*もっとやりたい





本資料に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しです。これらは現時点（2022年3月24日現在）で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

# 決議事項

## 報告（ご出席の株主数及びその議決権の数）

議決権を有する株主数	14,100名
その議決権の数	126,493個

1株配当金および配当性向

1株当たり  
年間配当

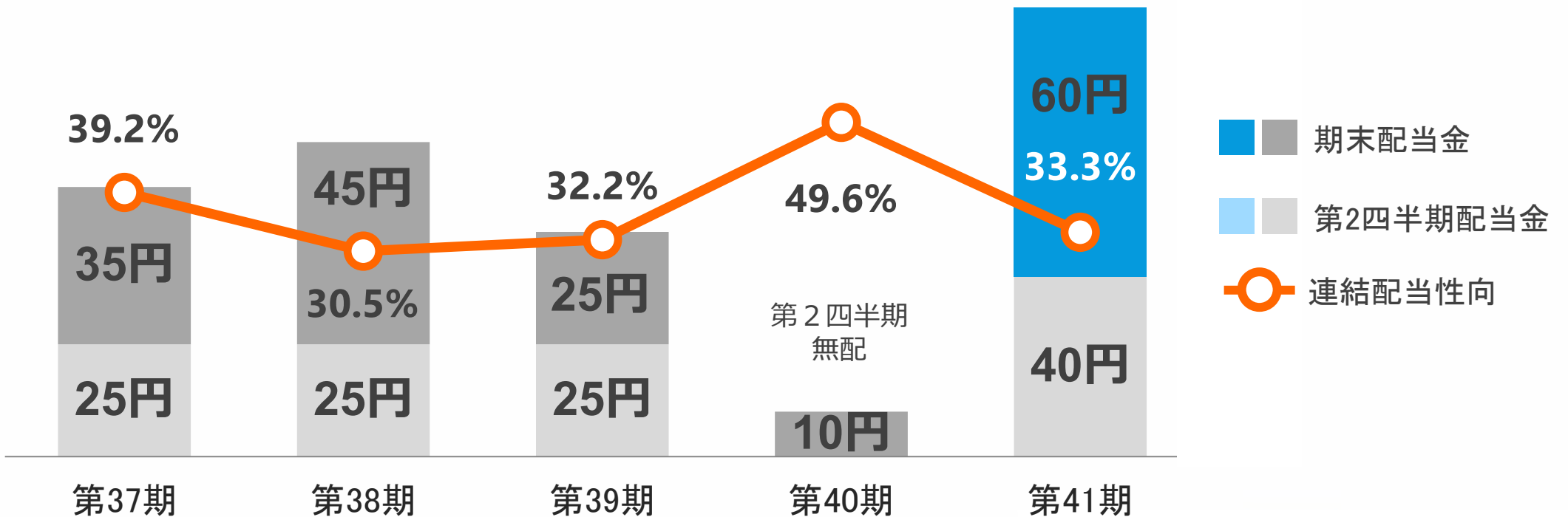
60円

70円

50円

10円

100円



## 第2号議案 「定款一部変更の件」 ご通知8～9頁

「会社法の一部を改正する法律」（令和元年法律第70号）附則第1条ただし書きに規定する改正規定が、2022年9月1日に施行されます。これに伴い導入される「株主総会資料の電子提供制度」に備えるものであります。

- （1）株主総会参考書類等の内容について電子提供措置をとる旨を定める
- （2）書面交付する書面に記載する事項の範囲を限定するための規定を設ける
- （3）不要となるインターネット開示とみなし提供の規定を削除する
- （4）効力発生日等に関する附則を設ける

## 取締役候補者

- |   |                 |            |
|---|-----------------|------------|
| 1 | 田部 耕平           | (たなべ こうへい) |
| 2 | 上井 敏治           | (うわい としはる) |
| 3 | アンドリュー・オランスキー   |            |
| 4 | 細窪 政 ※          | (ほそくぼ おさむ) |
| 5 | 岡田 直子 ※         | (おかだ なおこ)  |
| 6 | ブライアン・K・ヘイウッド ※ |            |

※ 社外取締役候補者

監査役候補者

1 鈴木 正康 (すずき まさやす)

# 取締役及び監査役の紹介

## 取締役（6名）



田部 耕平



上井 敏治



アンドリュー・  
オランスキー



細窪 政



岡田 直子



ブライアン・K・ヘイウッド

## 監査役（4名）



鈴木 正康



長野 直樹



松田 茂樹



本田 光宏